

あきたの 地域医療通信

2011年9月 第11号

発行／秋田県健康福祉部医務薬事課
医師確保対策室



～大学と病院が一体となって秋田県で外科医を育てる～

『秋田県外科医育成プログラム機構(ASPO)の挑戦』

秋田県内で外科医も減少しているということをご存知でしょうか。以前であれば、毎年10名程度が外科医になっていたのに、今では毎年2～3人に減ってしまいました。若手の外科医が不足し、このままでは秋田県内で外科手術を受けることが難しくなるのではといった危機感から、昨年できたのが秋田県外科医育成プログラム機構(ASPO)です。

今回はこの機構の立ち上げに深くかかわった、安藤秀明先生(秋田大学医学部)、南谷佳弘先生(秋田大学医学部)をはじめとした外科医の先生方にお話を伺い、その取組を紹介します。

ASPOが取り扱う領域の外科は、消化器外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺甲状腺外科、呼吸器外科の5つです。この5つの科の専門医を取得するには、その前提として外科専門医を取得しなければなりません。外科専門医の取得には、消化管・腹腔内臓、乳腺、呼吸器、心・大血管、小児外科などで定められた一定数の手術経験を積む必要があります。

しかし、地方の病院単独では、これらの診療科の手術件数を全て行うことは困難ですし、全ての病院に全科の医師が常駐しているわけではありません。たとえば、心臓血管外科の手術は、秋田大学が圧倒的に多いなど、ばらつきもあります。そこで、秋田大学と県内の主たる病院が連携、協力して、外科医育成のための後期研修プログラムをつくり、外科医志望者にキャリアパスを示すとともに、質の高い外科研修を秋田県内で提供することで、秋田県内の消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、心臓血管外科、小児外科を増やそうという広大な構想からなる取組です。

このプログラムは、初期臨床研修を併せて5年間行うこととなっており、初期研修は秋田県内の14の研修病院であればどこでもよいということ。また、医局に所属しなくても、外科専門医の取得が可能であり、所属病院にない外科の研修に当たっては、ASPO事務局でコーディネートを行って、外科専門医取得をアシストするという機能も持っています。

現在8人の研修医(うち女医1人)がこのプログラムで外科の研修を行っております。

後期研修中の先生方にお話を聞いてみました。

中通総合病院に所属している横山直弘先生と、佐々木勇人先生のお二人は、秋田大学医学部を卒業後、初期研修を中通総合病院で実施、現在外科専門医の資格取得を目指



(左から佐々木先生、横山先生)



(左から南谷佳弘先生、森井真也子先生、安藤秀明先生)

して後期研修中の先生で、横山先生が医師になって5年目、佐々木先生が4年目の先生です。

中通総合病院においては、外科専門医は自院単独でも取得は可能だが、小児外科の症例が手薄になるとお話しされ、外科の研修は症例を集めるだけではなく、他の病院でも研修できるシステムができれば良いと思っていたと、ASPOの取組を評価しています。

先生方からは、「外科になることを怖がらずに、外科もいいですよ」「外科は、手術をすれば患者さんを治したという実感がある。手術して化学療法という手段もある。手術だけではなく最後まで患者さんを診るという魅力がある」という医学生への外科へのお誘いのメッセージもいただきました。

また、病院で指導に当たっている先生方はこうお話ししてくれます。

由利組合総合病院副院長の橋本正治先生は、秋田県全体で外科医を育てていこうという取組であり、全面的に協力したいし、ASPOをもっと宣伝したいと言います。



橋本先生



柴田先生

本荘第一病院診療部長の柴田聡先生は、ASPOは各診療科を超えた緩い結合体。ASPOで初期研修から来てくれると、本当に初期研修の外科の教え甲斐がある。良い意味でたくさん教えたいとなると話します。

秋田県で始まったばかりの取組ですが、指導医の熱意、大学、病院一体となった外科プログラムはお奨めです。初期臨床研修は、救急やプライマリーケアで決めるという方も多いでしょうが、将来外科を志す皆さん。ASPOでの5年間の研修も考えてみませんか？いま、秋田の外科がHOTです。

お問い合わせ先は、次のとおりです。皆さんの熱意に熱く応えます。

秋田県外科医育成プログラム機構(ASPO)

秋田大学医学部消化器外科 准教授 安藤秀明 mail:andoh@gipc.akita-u.ac.jp/
<http://www.med.akita-u.ac.jp/~aspo/index.html>

総合診療・家庭医養成プログラム後期研修医募集!

複数の疾患を持つ患者さんが増えており、総合的診断能力を有する医師が求められています。本プログラムは、総合診療・家庭医として一定のレベルを獲得し、将来、地域医療を志す医師の指導者を養成するため、秋田県と秋田県厚生連が連携しながら実施する後期研修プログラムです!

プログラムの特徴

- 今までのキャリアを生かして希望する科や分野を選択できるなど、テーラーメイドの研修が可能です。
- 定期的な形成的評価とフィードバックにより、総合診療・家庭医としての知識と技能を確実に修得できます。(3年間の研修で、認定内科医(日本内科学会)の受験資格(2003年以前の医師国家試験合格者を除く)と家庭医療専門医(日本プライマリ・ケア連合学会)の受験資格の取得が可能です。)
- 地域医療の指導に実績のある自治医科大学地域医療センターと連携しながら、各科指導医が総合的なサポートを行います。

プログラムの内容

	研修先病院	研修内容
1年目	秋田組合総合病院	内科、小児科、救急等をローテート
2年目	※湖東総合病院において地域医療研修を実施	※個別に希望する科の調整を行い、希望に沿った形でのプログラムを設定します。
3年目		地域医療研修
4年目以降	希望する医療機関	総合関連専門医取得、各科専門医取得

研修医募集要項

- 秋田県厚生農業協同組合連合会の職員として採用します。給与等/秋田県厚生連の規定に基づきます。(医師免許取得後 3年目:約900万円、10年目:約1,300万円)労働者災害補償保険、研修医賠償責任保険、雇用保険、厚生年金、健康保険加入 宿 舎/必要に応じて手配します。

お問い合わせ

秋田県健康福祉部 医務薬事課 医師確保対策室
 TEL: 018-860-1410 e-mail: ishikakuho@pref.akita.lg.jp
 秋田県厚生農業協同組合連合会 医療従事者確保対策室
 TEL: 018-864-2625 e-mail: kakuho@akitakouseiren.or.jp

医学生合同説明会および意見交換会

医学部5、6年次を対象とした、秋田県臨床研修病院合同説明会を平成23年6月18日(土)秋田市内のホテルを会場に開催しました。

震災により、春休み中の病院見学が十分出来なかった学生へ情報提供する機会を設けようと、この時期の開催となりましたが、通常の病院ブース説明の他、秋田県の初期研修、後期研修の取組についての紹介もあり、参加された学生のみなさんの病院選択の参考にしていただければと期待しています。



中通総合病院のブース説明



スギッチとなまはげ

レジナビフェア 2011 in 東京

平成23年7月17日(日)東京ビッグサイトで開催された、レジナビフェアに今年も秋田県病院群として出展しました。

県外の多くの医学生に秋田県を知ってもらうため、当日は秋田県のマスコット「スギッチ」と「なまはげ」も参加し、秋田県ブースを盛り上げました。

「泣く子はいねがあ〜!」と威嚇しながら練り歩く勇猛ななまはげではなく、心優しい

秋田県ブースのなまはげは医学生への説明も熱心に行いました。

秋田県病院群は今年も一丸となって、研修医のサポートをしていきますので、病院見学にもぜひお越しください。

(問合先：秋田県医師確保対策室)



うなずくなまはげ

秋田県で実りある研修を!

首都圏の医学生のみなさん。秋田県内の病院で働く研修医と、じっくり初期臨床研修について、語り合ってみませんか?

「医学WILLS秋田県」を開催します。

参加者募集中!!!

- ◆日 時／平成23年9月25日(日) 午後2時～6時
- ◆場 所／スタジアムプレイス青山 (地下鉄銀座線「外苑前駅」徒歩3分)
- ◆内 容／第1部 <講演会・交流会> 第2部 <懇親会>

※医学生スキルアップセミナー (秋田県臨床研修協議会主催) 講師として、2年連続参加者アンケート人気NO1、奥山慎先生 (秋田大学医学部附属病院) が、秋田の医療現場や医師の日常生活をユーモアを交えて語ります。

秋田での研修をお考えの方、地域医療の現状を学びたい方はもちろん、様々な病院のお話をうかがってみたいという方、そして、研修医のホンネを聞いてみたい方などなど・・・若手研修医がお待ちしています。医学生の方ならどなたでも参加できます! (参加費無料)

☆申し込みお問い合わせは☆

E-mail: ishikakuho@pref.akita.lg.jp Tel.018-860-1410

秋田県健康福祉部医務薬事課 医師確保対策室 〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号

指導医メッセージ



秋田大学医学部附属病院
小児科特任助教

岡崎 三枝子 先生



埼玉生まれの大阪育ちであった私が、今や秋田暮らしが一番長くなってしまいました。高校卒業後、千葉大学看護学部で看護学を2年学んだ後、秋田大学医学部入学し、卒後も秋田に残りました。小児科一般研修の後、救急疾患に関心が強く、小児循環器を専門とすることに決めました。研修当初、秋田県は小児人口も少なく、小児科医としての力量が都会で研修した医師

と比較して劣るのではと心配していましたが、全国的に増加する小児専門医療へのニーズ、求められる知識と技量、さらに小児科医不足もあり、全く困ることはありませんでした。さらに現在は小児循環器医として、複雑心奇形の胎内診断から、生後の診断・集中治療、周術期管理など、3次医療機関でしか出来ない専門医療を行っています。

忙しさは常にありますが、その中で結婚・出産も経験しました。子ども達は秋田の自然の中すくすくと育っています。大学は教育機関でもあるため、秋田での医療や結婚子育てとの両立に不安を持っている医学生、若手医師の皆さんに巡り会います。「なぜ医師にならなかったのか」を常に自らに問いかけ、自分の中心にある一本の柱を据えて進んで行けば、どこで仕事しても何を専門としても、自分のめざす医療を実現できるのではないかと考えています。



市立横手病院

〒013-8602 横手市根岸町5番31号
TEL0182-32-5001(代表)

★当院は、横手城のあるお城山のふもとで横手川に面しており、四季を通じて絵になる病院です。平成23年5月で増改築工事が終了し、今後ますます地域医療へ貢献し、人間味豊かな病院としてパワーアップを目指します。

【市立横手病院の特徴】

- 急性期一般病床225床、感染症病床4床、人工透析15床、宿泊ドック4床の中規模総合病院
- 完全電子カルテ。研修医の机にも1人1台端末PC設置
- とくに消化器内科・外科において多数の手技経験が可能
- 今年、新館が完成。消化器センター、総合外来が開設
- 緩和ケアチーム、感染対策チーム、栄養サポートチーム、褥瘡管理チーム等、科横断的・全人的医療が高レベル

- 秋田県では数少ない緩和医療学会認定研修施設及びアレルギー科認定教育施設、感染症学会教育連携施設
- 医師不足に悩む地域市中病院において常勤医が増加中
- 各科の敷居が低く連携が非常にスムーズ
- 研修医指導に非常に熱心

来たれ未来の名医！決してひとりで悩ませておいたりしません！
一緒に働きませんか？
地域医療のために一緒に働きたい方を心からお待ちしております。



今年も開催。医学生スキルアップセミナー

今年で3回目となる医学生スキルアップセミナー。先輩1年目研修医のケースカンファレンスの見学と、秋田大学医学部の若手講師陣による、「ここがポイントCBT」の試験対策。勉強の後は、秋田市大町（通称「川反通り」）の会場で、懇親会。秋田の良さを昼も夜も堪能してください。医学生の皆様のご参加をお待ちしています。

- 1 日 時 / 平成23年10月29日(土) 午前9時～
- 2 場 所 / 大瀧村 サンルーラル大瀧、秋田市大町 第一会館
- 3 その他 / 県外から御参加の方については旅費を支給します。
(秋田市と大瀧村との移動は送迎します)
- 4 申し込み、お問い合わせは「秋田県医師確保対策室」へ



(昨年の懇親会。盛り上がりしましたよ)